

## 第 8 回名立区地域協議会 次第

日時：令和 6 年 12 月 4 日（水） 午後 6 時 30 分から  
場所：名立区総合事務所 2 階 第 2 会議室

### 1 開 会

### 2 自主的な審議

(1) 自主的な審議テーマの検討について …資料 No. 1

### 3 その他事項

### 4 次回会議について

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 \_\_\_\_時\_\_\_\_分から

### 5 閉 会

## 自主的な審議テーマ

## 第7回(R6.10.29)名立区地域協議会でお出された意見

発言者	意見等	意見に対する回答等
石井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目は事務局案のとおり4つに絞られると思う。特に議論を急がなければならない項目は、「名立の魅力の発信」、「持続可能な集落・地区の促進」、「高齢化が進む中で新たな農業の実現」の3項目だと思う。</li> <li>・「名立区の教育のあり方」については、学校運営協議会の中で話がまとまった後に、地域協議会と協議をする方がよい。</li> <li>・名立区は他区と異なり、近隣の学校と統合することが容易ではないと感じている。</li> <li>・小中一貫教育という考えもあるが、市の方針もあり、名立区だけで進めるものではない。</li> <li>・集落維持の問題は待ったなしの状況であり、解散寸前の集落が出てきている。具体的には、一つの町内では神社を維持管理できなくなり、近隣の町内の神社と一緒にになり、維持できない神社は解体したという事例がある。</li> <li>・神社がなくなってしまうと、町内行事の拠点がなくなり、町内会活動も衰退していくことが予想される。</li> <li>・下名立、上名立地区辺りではどこの町内も若手が少なく、少ない人数で町内の役員を回しているのが現状である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的人口の多い不動町内会でも同じような状況であり、3つの町内会が合併して5年経つが、町内会の運営に関する課題はまだまだ多くあると感じている。(高宮委員)</li> </ul>
石井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動地区はまだよい方で、役員のなり手がおらず、特に上名立地区は何年間も同じ人が役員を務めている。</li> <li>・このようなことから、町内会の合併を急がなければいけないと思う。難しいテーマではあるが、地域協議会としてどの町内同士が合併するか案を考えることはできるのではないか。</li> <li>・名立小泊から東飛山までで、空き家が何件あるかを市で把握しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握はしているが、空き家の定義は難しく、別所帯を持っているケースや、冬季だけ空き家になっているというケースもある。また、ひと月に1回くらいは家に戻ってくるという場合もある。(事務局)</li> </ul>
高宮 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部はかやぶき屋根の空き家も多い。かやぶき屋根の場合、解体費用も高くなると思う。そういった理由もあって空き家を取り壊さずにいるのかもしれないが、劣化により壊れた家屋の一部が強風で隣の家まで飛んでしまうといった問題も起きている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家に関しては、集落づくり推進員が集落を回り、空き家の状況等も含め、定期的に集落調査をしている。(事務局)</li> <li>・また、他区では移住者向けに町内の紹介や空き家の情報をまとめて</li> </ul>

		ホームページに載せているが、名立区はこれまでそういった取り組みをしていなかった。これも今年度に入り、集落づくり推進員を中心に作成を進めているので、その中で空き家情報も発信できればよいと思っている。(事務局)
二宮 副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住に関する情報とは、今年、丸田町内会も作成したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。各町内の意向を聞いたところ、今年度は希望のあった丸田町内会と不動町内会で作成した。(事務局)</li> </ul>
矢沢 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者を受け入れると言っても、計画書の作成や町内としての方向性を決めるなど、段取りをしっかりとしなければいけないと思う。</li> <li>・不動町内では、12月中に、市から移住者や地域おこし協力隊についての説明を受ける予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動地区は移住者の受け入れに向けて動いていると聞いている。矢沢委員が言う通り、段取りが重要で、年度内にまとめることを目標に進めているようだ。町内での段取りがまとまれば、市が進めている移住計画に沿って、必要な支援を行うこともできると思う。(事務局)</li> </ul>
池垣 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会では、高齢者と子どもたちを繋げるような機会を年に数回設けているが、それだけではなく、子どもから高齢者までが自由に集まれるような場所やイベントができればよいを考えている。</li> <li>・現在は、高齢者を対象としたもの、子どもたちを対象としたものといったように、参加者が限定されているイベントが多いので、年齢に関係なく交流できる機会をつくりたい。</li> <li>・高齢者のサロンを開催するとの参加者は女性がほとんどである。男性はサロンで近所の方とお話することに抵抗があるのかもしれないが、サロンという形でなくても草刈りでもよいし、何かしら外に出て人と関わる機会をつくりたいと思っている。</li> </ul>	
岡崎 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住と言われてもなかなかピンとこない部分も正直あるが、自主的審テーマの案の中では、「持続可能な集落・地区の促進」を最初に進めた方がよいと思う。</li> <li>・移住に関して言えば、年配の方であれば農業や田舎暮らしといった魅力が名立区にはあると思うが、若い方の移住を増やしたいと思ったときに、どうしたら移住先に選んでもらえるのかと考えると難しい。若</li> </ul>	

	<p>い人にとっての名立の良さを整理し発信することも必要ではないかと思う。そう考えると、「名立の魅力発信」というテーマでの検討も必要になってくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか考えがまとまらないが、若い世代から名立区に移住してもらうためにはどうしたらよいかを考えたい。</li> <li>・集落じまいといった話も出たが、上名立地区や下名立地区の現状を把握できていないが、かやぶき屋根の空き家が多数ある町内をそのままの形で維持管理し、観光名所としている場所もあるので、そういった取り組みもできるかもしれない。</li> <li>・例えば、かやぶき屋根の家をリノベーションして、宿泊体験施設にできれば需要はあるかもしれない。</li> <li>・集落じまいと聞くと後ろ向きなイメージだが、そうではなく活用できるものは残して発展させていくような考え方も面白いかもしれない。</li> </ul>	
<p>中野 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の知っている移住者の方は、空き家情報誌か何かでその家を見つけたことだったようだ。関東圏などでもっとPRすれば、移住者は増えるのかもしれないと思う。</li> <li>・名立区は細長い地形であり、集落同士が離れているところも多くあるため、町内会の統合が難しいところもあると思う。そういった集落をどのようにまとめていくのかも課題だと感じる。</li> </ul>	
<p>細谷 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名立区に住んでいる人たちが暮らしやすくなるようなテーマがよいと思う。移住者を呼び込むことも大切だが、それはもう少し先の事かもしれない。</li> <li>・将来の名立区を想像することは難しいが、人口が劇的にV字回復することはないと思う。そうだとすると、現状を少しずつでもよい方向に向かうような取り組みができればよいと思う。</li> <li>・今は地域活動にあまり参加していない若い世代や中高生がもっと表に出てきて、地域と関わるようになると、名立区の盛り上がりにつながるのではないかと。</li> <li>・前期の自主的審議のテーマをみると、「ろばた館の利活用について」ということで、かなり具体的なテーマ設定をしている。今回についても、もっとテーマを絞った方が、現実的な議論になるのではないかと思う。</li> </ul>	

<p>矢沢 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのテーマ案は、どれも名立区にとって重要なことだと思うが、実際に町内の役員をやっていると、若手が少なく一生役員を続けなければいけないのではないかと思っている。</li> <li>・人口が少なくなっても町内会等の行事は減らず、役員の負担が年々大きくなっているため、残すものは残す、辞めるものは辞めるといった選択も必要だと思う。</li> <li>・先日ろばた館に行ったが、「もう少しで温泉がなくなってしまうのか」と思うと寂しい気持ちになった。ろばた館の今後についてなど、まずは地元に住んでいる方にとってプラスになるような議論をして、その次に外から人を呼び込む方法について議論してもよいと思った。</li> </ul>	
<p>新田 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名立に住んでいる方にとっての魅力、名立区全体の魅力を広げていければ良いと思う。</li> </ul>	
<p>高宮 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど、かやぶき屋根の家を活用できないかという話も出たが、今はかやぶき屋根の家を修繕できる職人がいないため、残していくのが難しいのが現実だと思う。</li> <li>・不動地区では3メートルの雪が積もるので、一人では除雪ができない方の家や、空き家は近所の方が協力して除雪をしている。また、民生委員の方が中心となり、高齢者世帯等の支援も行っている。こうして、なんとか支え合って集落を維持しているというのが現状である。</li> </ul>	
<p>石井 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの除雪補助金について、町内によって補助金額が異なり、積雪量が多いのに補助額が低いというケースもあり気がかりだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は解消されている。(事務局)</li> </ul>
<p>石井 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯では除雪が難しく、民生委員がそのお宅の除雪を行っているという現状があり、一人で5軒以上の除雪を行っている場合もある。そういったことも名立区で生活するうえでの住みづらさみたいなものにつながってくると思う。また、除雪をしてくれる若い人がいない町内もある。</li> <li>・雪により冬場は生活しづらいので、そういった現状を変えていく議論も必要だと思う。</li> </ul>	
<p>二宮 副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんの意見を聞いて感じたのだが、石井委員が言われたように「名立区の教育のあり方」については</li> </ul>	

	<p>学校運営協議会での議論が先だと思う。また、「高齢化が進む中で新たな農業の実現」については、委員の皆さんから話が出なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんの話を伺って、移住も大切だが、まずは現在名立区に住んでいる方たちがもっと住みやすくなることで、人口流出が減って、さらに名立区の魅力を発信することで、UターンやIターンが増えるような仕組みづくりといった方向性でテーマを決めていければ良いと感じた。</li> </ul>	
<p>桐木 所長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所長となり 3 年が経ち、地域の皆さんの感覚をある程度理解しているつもりだが、私としては、「名立の魅力の発信」と「持続可能な集落・地区の促進」が 2 大看板だと思っている。</li> <li>・自主的審議のテーマになるものとして、要綱では「身近な地域の課題を解決しましょう」、「市政運営の中での課題を市に提言しましょう」ということがある。</li> <li>・玄関先の除雪の話があったが、以前、当時のまちづくり協議会が住民にアンケートを行った際の項目に「庭先の除雪」と「買い物・通院支援」があったことから、まちづくり協議会として、前向きに考えていたからこそアンケートの項目に入れたのだと考えている。</li> <li>・今年度から、まちづくり協議会は NPO 法人となり、対外的な信頼をワンランク上げたことから、何か事業に取り組みたいという考えがあったのではないかと知っている。</li> <li>・以前、委員の皆さんから NPO 法人から、今後の取組や活動内容について聞きたいという話があり、打診した際に「逆に委員の皆さんから質問があればお答えします」という回答であったため、NPO 法人になったからこそ行いたい取組は何かということを知りたいと思った。</li> <li>・これまでの名立まちづくり協議会の取組を母体にすると考え、生活支援型の事務所というイメージが強いため、そういった今後の具体的な取組内容について質問するのもよいと思う。</li> <li>・名立の魅力の発信について、今回の委員改選で、当地域協議会は若手が多くなり、その方たちの取組に注目している。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その中でも岡崎委員からは「名立海の学校」の取組についてお話を伺っているし、細谷委員については、地域独自の予算事業に取り組んでいただくことになっている。</li> <li>・名立の魅力の発信というと、「夕日がきれい」や「ブナ林」といったキーワードを聞くが、そうではなく、地域の活動に参加した人たちが賛同し、その取組を通して魅力が広がっていくことが本当の魅力発信になると考えている。</li> <li>・仮に、生活支援型のテーマを自主的審議として取り上げると何となく暗い話になってしまうかもしれない。高齢者支援や福祉も重要だが、せっかく若い世代が委員になっているので、名立の魅力を発信するような前向きなテーマでないと勿体ないと思う。</li> <li>・委員の皆さんの意見にもあるが、「若手の活躍」辺りは良い発想だと思う。</li> <li>・来年度の地域独自予算の提案を見ると、他区では、やりたいことを事業化し、どんどん提案してきている。予算化されるかどうかはこれからだが、要求しているという実態はある。</li> <li>・こういった取組を考えた時に、実施母体になる団体を見つけることが課題となるので、岡崎委員や細谷委員、それから輝く里不動の会といった人たちに期待している。</li> </ul>	
細谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルに、自分が楽しいと思えることをやりたいと思って活動しているので、その取組が魅力発信につながればよいと思う。</li> </ul>	